



宮川 勇 議員



録画映像

## 農業に関する件

**問** 物価高騰に対し、農家経営を支援する施策を考えているのか

**答** 市長 新たな支援策等の把握に努め対応してまいりたい

**問** 本年は例年になく猛暑が続く、熱中症警報が出るなど、厳しい天候が続いています。

また、国際情勢の緊迫、為替の変動により飼料、肥料、薬剤ほか、資材も高騰を続けています。

一方、七飯水力発電所の設備の故障により、水不足が心配される場面もありました。

これらを踏まえ、以下のことについてお聞きします。

(1) 令和5年度の主な生産物（米、トマト、キュウリ、長ネギ、大根）の出来高の状況または見通しについて。

(2) 諸物価の高騰は一般市民の生活も直撃していますが、農家経営にも多大な影響を与えています。

市は、農家経営を支援する施策を考えているのかを伺います。

(3) 市は、農業者のためにあるJA新はこだてに対し、農家経営を支えるための施策を協議すべきと考えますが、取り組みを行っているのかお尋ねします。

(4) 北電の水力発電所設備故障に関わる水不足に関し、北電は被害があった場合は補償を行うとのマスコミ報道がありましたが、農業者の被害調査はどのような方法で行うのかお尋ねします。

**答** (市長) (1) 令和5年度の主な生産物の出来高の状況ですが、7月末現在の状況で申し上げますと、米については収穫前で、出来高はありません。

トマトについては、収穫量221・2トンで前年同期と比較し約2割の増、キュウリは、収穫量13・1トンで前年同期と比較し約1割の減、長ねぎは、461・7トンで前年並み、大根は、既に収穫を終え、今年度は収穫量72・2トンで前年よりも約6割の増となっています。

今後の見通しですが、水不足による米への影響が心配されましたが、渡島農業改良普及センターからは、品質も悪くなく影響がほとんどなさそうだと報告を受けています。

トマトについては、前倒し傾向となっており、高温障害も散見されることから、9月中旬から下旬にかけて出荷量が減少

する見込みです。

キュウリについては、上磯地区の抑制キュウリが8月21日から出荷を開始し、現段階での障害等はなく、生育も良好ですが、高温の影響もあり花つきが悪く出だしは遅れぎみです。

長ねぎについては、高温、干ばつの影響から太物が少なく、箱数が少ない状況となっています。

大根については、6月末でおおむね収穫が終了し、前年を上回る収穫量でした。(2) 農家経営を支援する施策については、国が実施している肥料価格高騰対策事業への申請について、農業者の方々へのご案内や取りまとめを行ったところです。

また、酪農農家に対しては、経営環境の特殊性に鑑み、本市としても特別な支援が必要であると判断し、第2回定例市議会に提出した補正予算案において、酪農飼料高騰対策支援事業補助金を追加計上したところです。

物価高騰対策は、北斗市だけではなく、国全体の課題であると認識しています。

今月には、国の令和6年度農林水産予算概算要求に係る説明会も実施されますので、今後の国の動きを注視し、新たな支援策等の把握に努め、農業者へ支援が適切に行き渡るよう対応してまいりたい。(3) JA新はこだてとの施策協議についてですが、これまでも、JA新はこだてに

限らず、日頃から市内の農業関係機関と連携を図っていますし、農業者からも直接意見を聞きながら、農業経営を支える仕組みを進めています。

その成果として、今年度から、農作業の効率化と省力化を図り、担い手不足による遊休農地の防止を図ることを目的とした、農業機械等導入支援事業補助金や、付加価値の高い取り組みを推進することを目的とした、六次産業化支援事業補助金を新たに創設したところです。

(4) 北海道電力七飯発電所のかんがい放水設備故障に関わる、農業者の被害調査については、北海道電力が補償を行うといった報道は存じませんが、市と渡島農業改良普及センター、渡島平野土地改良区が協力し、収量調査を実施していく予定です。



出荷のピークを迎えている  
北斗市トマト共同選別施設（中野通）